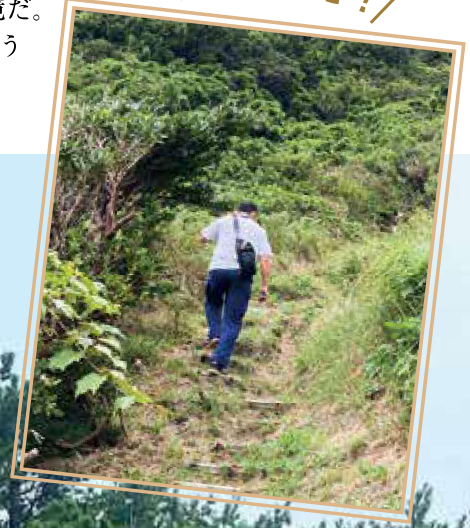




みっちり草原に行ってみた!

下甕町片野浦(子岳地区)にあるカノユリの名所・みっちり草原。車が入れない、登山道を登った者だけが見ることができる秘境だ。観光パンフレット等で知ってはいるが、行ったことはないという人も多い同草原。今回、そんな“みっちり登山”をレポート!

登山開始!!



40歳、みっちり登山に挑戦!

長浜港ターミナルから車で20分。西海岸の小さな地区に、「草原入口」の看板がある。見上げれば山。カノユリの名所はここを登った先だ。どれぐらいの時間がかかるのか? 本当に登れるのか? 自問自答する40歳。一緒に登る同僚(45)と登山道を眺めるだけで、最初の1歩が出ない。躊躇していると、近くで漁の道具の手入れをしていた地元の女性が、話しかけてきた。「15分ぐらいで登れるよ」とニッコリ。その言葉に勇気づけられ登り始めた。

登山道を整備した 地元有志に感動

初の「みっちり登山」。足運びも軽やか。「これはいけるかも」と思った。だが、運動不足の私。徐々に膝が笑い始める。標高1000メートル、全長340メートル。流れる汗を拭いながら、一歩一歩。急な登りも、地元有志が木材や石などで作った登山道に助けられ、なんとかか足を前に進める。この道、入口から草原まで整備されている。何度も登り降りして作り上げただろうことは想像に難くない。それを通して、まだたどり着いていないにも関わらず、自然とこの場所への愛着が湧いてくる。



みっちり草原

下甕町片野浦（子岳地区）にある草原。初夏にニシノハマカンゾウの黄色い花が咲き始め、あとを追うようにカノコユリのピンクの花が咲き誇る。見ごろは8月中旬から9月上旬。短時間で登れるのも魅力。秋冬も夏とは違った景色が楽しめる。



長浜港から手打トンネルを通過して右折。「孤島の野犬像」が見えたら左折し、看板に従い道なりに直進。



▲みっちり草原に咲き誇るカノコユリ



▲登山道から見える海と漁港

そんな木々のトンネルがお目見え。インスタ映えになるかわからないが、先を行く45歳をパチリ（表紙写真）。いい思い出だ。
登り始めて20分で到着。トンネルの先には、疲れも吹き飛ばすほど一面に咲き誇るカノコユリが待っていた（写真上）。



途中「もうひとがんばり」の看板。その言葉で再び足に力が入る。振り返ると、海を見下ろす絶景。スタート地点の漁港が見え、「ここまでよく登った」と自分をほめる。さらに、先には「アニメの世界？」と錯覚し

そしてゴール！



みっちり草原を楽しんでいただくためのお願い



草原の最奥の先端は、断崖の上であり、崩落の危険性があるため、立ち入らないようにしてください。

環境維持のため、遊歩道を外れての写真撮影はご遠慮ください。



第29回 育英旗争奪ソフトボール大会



第29回育英旗争奪ソフトボール大会
 準優勝
 スポーツ少年団



第29回育英旗争奪ソフトボール大会（小学生）で、甌ソフトボールスポーツ少年団が準優勝に輝いた。8月8日、薩摩川内市総合運動公園多目的運動広場で開催。雨の中、16チームが争う激戦だったが、エースの川道礼夢君（中津小5年）を中心にゲームを組み立て、優秀選手賞に西園楓甫君（里小2年）が選出されるなど、全員で全力プレーを貫いた。

西園中監督は「今回の試合は、1人1人がプレーだけでなく、声出し、準備、片付け等、全てにおいて全力で取り組んだ結果だと思っています。今後の目標は、次の大会（県ちび）で優勝です！」と選手のさらなる成長に期待した。